

市政懇談会「みんな一緒にまちづくり」開催報告書

目 的

昨年策定した新・留萌市財政健全化計画及び留萌市立病院改革プランに基づき、新たな市政運営がスタートして、4月には各町内会の代表の方に参加いただき、平成21年度市政運営に当たっての担当各部が重点的に考えている仕事の内容、各地域での課題などをテーマに市政懇談会を開催し、情報の共有を図りました。

新年度がスタートしてから半年が経ち、財政健全化計画の取り組み状況や市立病院の経営状況などの市政運営状況、小中学校の配置計画の考え方や地産地消、商店街の取り組みなどの今後の重点的事項について、市民の皆さんと意見交換をすることにより、一層の情報共有を図るため開催しました。

開催状況

開催日	時間	会場	参加人数
10月19日(月)	午後6時30分 ～ 午後8時	港西コミュニティセンター	12名
10月20日(火)		幌糠コミュニティセンター	10名
10月21日(水)		東部コミュニティセンター	7名
10月26日(月)		港北コミュニティセンター	15名
10月27日(火)		港南コミュニティセンター	9名
10月28日(水)		港東コミュニティセンター	18名
合計		6会場	71名

市政懇談会「みんな一緒にまちづくり」開催結果報告

市長挨拶（要旨）

- ・ 市長という重責を担って、早くも3年と6カ月が過ぎた。
- ・ この間、私としては精一杯、誠実に、子どもからお年寄りまで全ての人の声に耳を傾け、そして真心を込めて自ら行動してきた。
- ・ 次の世代に持続可能なまちづくりをしていくためにも、まずは財政の健全化をしっかりやるということで、7年間の財政健全化計画を立てて、皆さんに深いご理解をいただいた。
- ・ それによって市民の皆さんに大変つらい思いを、特に子どもたちにもつらい思いをさせ財政再建をしなければならず、本当に皆さんに申し訳ない気持ちであります。
- ・ なんとか市立病院の再建をしっかりとやりながら、財政再建も予定通り進めていきながら市民の皆さんの声を、ニーズを捉えて、それを政策立案の中でどう生かしていくのか、地域で抱えている問題を行政としてしっかり受け止めて、次の世代に実りの多い施策を展開していかなければならないと考えている。
- ・ みんなで力を合わせて、市民と心をつなぐことによってこの厳しい状況を何とか乗り切るところに、必ずや新しい未来、希望ある未来が開ける。
- ・ 地域の皆さんがそれぞれ支え合う、もう一度、新たな協働ということで皆さん一人ひとりが意識を持って、お互い関心を持ってお互い支え合い、みんな一緒になって街の将来を考える。
- ・ 留萌高校の吹奏楽部がマーチングバンドで全国大会出場を決めた、千望高校の生徒が食に関する色々なアイデアで取り組んでいる、私たちが逆に子どもたちから後押しされ、子どもたちから元気をいただいている。
- ・ 市民の皆さんが健康に安心して安全な毎日の生活を送っていただきたい。市民一人の健康を重く、自らの課題として決めたので、道の深いご理解をいただき、道の施設を無償で利用させていただき健康の駅を開設した。
- ・ 健康の駅を起点として、新たな健康産業の創出に向けて、新しい取り組みを市民の協力の下で取り進めていきたいと考えている。
- ・ これまで食をテーマに、音をテーマに、そして健康をテーマに色々な事業を組み立ててきたので、さらに皆さんの声を聴かせていただき、皆さんのニーズに応える。ニーズに応えることによって新たな改革に繋がっていくと思っています。
- ・ 行政と市民の皆さんが一体となり、協働の中で新たな市の施策、将来の街のビジョンを皆さんと創り上げながらしっかりとしたまちづくり、行政推進をしていきたい。
- ・ 新たな協働時代を迎えるにあたって、それぞれがお互いを補完しながら、お互い支え合いながら、笑顔の広がる、そして健康な市民一人ひとりの生活をお互い関心を持ちながら生き甲斐のある人生をこの街で送っていただきたい。そんな思いのまちづくりを皆さんと共に進めていきたい。

(幌糠地区分)

- ・ 一次産業として、農業をしっかりと地域で守っていかなければならない。
- ・ おいしい米を地元の人によりに食べてもらいたい。そのことを市民の皆さんに真心を込めて伝えながら、少しでも地元での消費力がアップするよう努めていきたい。
- ・ 今ある一つ一つの資源を大事にしながら、もう一度お互いのコミュニケーション、お互いの話し合いの中から何か新しい物を生み出しながら、この地域での農業にもう一度夢がもてるよう行政としても皆さんと共に知恵を絞っていきたい。
- ・ 閉校となった学校の利活用についても、皆さんに協力をもらいながら、また行政としても出来る手だてを精一杯組み立てながら取り組んでいきたい。

報告事項、意見交換

- ・ 各部より別添市政懇談会資料により説明、意見交換を実施
- ・ 意見交換の概要については別紙のとおり

閉会にあたって(市長発言要旨)

- ・ 人口減少時代にあって市民と共にどういう努力をして、この街の将来をどうして行くのか、どういう形で魅力を引き出していくのか、将来の留萌の未来図を、懐かしき未来を、昭和30年代の思いやりと優しさで助け合ったその時代を懐かしんでいるだけではなく、もう一度魅力のあるまちづくりとして交流人口が増えるよう、住んでよし、訪ねてよしのまちづくりを皆さんにご協力いただきながら、留萌の農業、漁業、一次産業、商店街を、そしてしっかりと、市民の皆さんともう一度その魅力を引き出して、また経済を守り水産加工業を合わせて留萌の宝としていくために共に力を合わせて行きたいと思っておりますので、皆さんの深いご理解をお願いしたい。
- ・ 健康の駅では食に関する取り組みが新しくできており、留萌の将来の産業構造ももう一度水産加工業から食品、健康産業を含め新たな展開に持って行ければいいなと思っている。
- ・ 数の子を食べて体脂肪を落としメタボリックを解消しようという研究を本格的に開始し、私としては留萌にある素材の中から健康、食品加工、そして健康産業が生まれれば新たな雇用も生まれていくものと考えている。
- ・ 財政再建で新たな事業に取り組むのは難しいが、なんとかその5年、6年を堪え忍んで、その後にはこの地域や千望台の施設にしてもまだまだ観光客が来た時に十分喜ばれるような施設でないという思いもあり、留萌の将来に向けて取り組まなければならない事業というのはたくさんありますが、財政というのを念頭に置きながら将来に付けを残すことなく、しっかりと財政再建をやっていく。
- ・ 信頼される市役所から、より期待される市役所になるためには、もっともっと汗をかい、私自ら先頭に立って市民の信頼を得、しっかりとした政策立案を立て、留萌の街の将来のビジョンを、財政再建だけではなくして財政再建をしながらも将来の夢のある留萌というものを、しっかりと市民の皆さんと共に創り上げていきたい。

(幌糠地区分)

- ・ 今まで食べている留萌のお米がどうしておいしいのか、低タンパク米だけで本当においしいのか、もっと他の部分が成分としてあるのか、そういう食に対する研究をしっかり取り進め、食、健康に結びつける食の産業化づくり、雪の多い北海道に企業誘致は難しい。だからこの地域にある資源を有効利用するために、地域の皆さんの協力をいただきながら、何とか新しい産業に結びつけていく。
- ・ 旧幌糠中学校を基盤に、この地域の賑わい創出ができればという強い思いがあるので、皆さんも都市と農村、この地域と留萌市内、消費者と生産者の交流事業についても、色々な取り組みに協力をいただきたい。